

# 令和7年度の学校経営について

佐原中学校長 岡野 健一郎

グローバル時代における変化の激しい社会をたくましく生き抜くには、一人一人の生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓くことができる力を育成することが必要である。そのために、全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指す。



## 1 教育目標 「グローバル時代において何事にも挑戦できる生徒の育成」 めざす生徒像

- すすんで学び、自らの進路を切り拓ける生徒
- 広い視野を持ち、他を思いやる生徒
- 心身を鍛え、健康で前向きな生徒

## 2 経営の方針

- (1) 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行い「確かな学力」の育成を図る。
  - ①自ら見通しを立て、考え抜くことのできる主体的な学習態度の育成
  - ②学習の基盤となる知識・技能や資質・能力の育成
  - ③様々な見方・考え方をもとに、他者との対話を通して課題をとらえることのできる思考力、判断力、表現力の育成
- (2) 生徒一人一人を大切にするとともに集団での教育活動を充実させ、人間性豊かな生徒の育成を図る。
  - ①一人一人の生徒の活動を認めることによる自己肯定感の涵養
  - ②集団の活動により、互いを認め合う気持ちの育成
  - ③道徳の時間のさらなる改善（考え議論する道徳）
- (3) 体育・健康・安全に関する指導を積極的に行い、健康や体力の向上に積極的な生徒の育成を図る。
  - ①健康に関心を持ち、主体的に健康維持や運動する態度の育成
  - ②自分の安全を守るための知識の習得と態度の育成
  - ③心の健康を適切に管理できる能力の育成

## 3 経営の基盤

- (1) 「開かれた学校づくり」を推進し、家庭・地域の信頼を得て、協働して生徒の健全育成を図る。
  - ①生徒について家庭との共通理解、協働・連携
  - ②家庭・地域と連携した起業教育やキャリア教育の推進
  - ③地域・社会の人材を活用し、何事にも挑戦しようとする生徒の育成
- (2) 職員一人一人が教育活動への参画意識もち、それぞれの能力を十分に発揮・伸長できる組織マネジメントを行う。
  - ①常に話し合い、お互いを高めあう職員集団の育成
  - ②報告・連絡・相談体制の確立
  - ③子どもと向き合う時間の確保と働き方改革の推進

## 4 具体的な重点取組

### (1) 学習指導の充実

- ①常に授業改善に取り組み、「わかる授業」を実践することで、「授業が楽しい、学校が好き」と感じられる学校づくりを目指す。
- ②ICT教育を推進する。一人一台端末を日常的に活用することで、一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会を提供し、「思考ツール」としての活用を目指す。
- ③全国学力・学習状況調査の結果を活用する。特に、「活用力」の向上及び「記述式問題」への取組の強化を継続する。（例えば、授業の最後に、各自が授業を振り返り、自分の考えを記述するなど）

### (2) 不登校の解消といじめの早期発見・早期対応

- ①不登校対策として、初期対応を強化し、個々の事案に応じてケース会議を開催するなど全校体制で対応にあたる。
- ②いじめの積極的な認知と情報共有による組織による適切な初期対応を行う。
- ③教育相談（含むLGBTQ）の充実を図り、個に応じた積極的な生徒指導に努める。
- ④家庭・関係機関との連携を密にして、生徒理解と早期の対応に努める。

### (3) スタートアップ・チャレンジ精神の育成

- ①香取市出身の若手起業家や、地元の経営者を外部指導者として招聘し、生徒に新たな商品やシステム、価値観を社会に生み出す喜びや意味を考えさせる。
- ②すべての学習活動において、学習内容と社会を生き抜く力を結び付けた指導により、キャリア教育を推進する。

### (4) 多様性への対応

- ①学習活動において、3年間を通してSDGsについて学習する機会を設定する。
- ②共生社会の形成に向けた特別支援教育推進のため、合理的配慮のもと個別の支援計画の活用や研修を通しての教職員の指導力の向上を図る。
- ③学級活動・人権教育を充実させることにより、それぞれの違い（含むLGBTQ）を認め合い、互いを尊重する集団を育成する。

### (5) 安全管理・安全教育・防災教育

- ①安全管理を徹底して、学校環境における安全性の向上と維持に努める。
- ②安全教育・防災教育を充実させ、自分の安全は自分で守る実践力の育成に努める。

### ※ 上記達成のための職員の心構え

- 自分を高めるための研修に取り組み、「全ては子ども達のために」の意識をもち続ける。
- 丁寧で心に寄り添った対応を行うとともに、生徒の模範となる言動、生徒及び保護者にわかる説明を行い、信頼関係を構築する。
- 学年主任会・企画会・輝きある学校づくり委員会（学習指導対策・生徒指導・モラルアップ兼働き方改革推進・豊かな心育成）等の校内委員会・会議を活用し、組織としての機能を高める。